

皆野町文化会館空調設備更新工事		設計図	平成 29 年 3 月	
仕 様 書				
Ⅰ 工事概要				
1. 工事場所	秩父郡 皆野町 大字 皆野 1418-1、他			
2. 敷地面積	10,864.41 m ²			
3. 工事項目	空調設備更新工事 文化会館（管理棟、ホール棟） 構造・規模： RC造 地上3階 建築面積： 1,916.62 m ² 延べ面積： 2,402.60 m ²			
4. 工事内容	(1)建築工事（天井改修） (2)外構工事 (3)解体工事			
5. 工事範囲	※「3. 工事項目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事項目」のうち各工事項目における工事範囲は下表のとおりとする。ただし、その他の工事項目はすべて今回工事範囲とする。			
工事種目				
工事項目				
2 仮設工事				
3 防水改修工事				
4 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁				
5 建具改修工事				
6 内装改修工事				
7 塗装改修工事				
8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事 耐震改修工事				
9 環境配慮改修工事				
Ⅱ 建築改修工事仕様				
1. 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標準」という。）により、また、改修標準に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標準」という。）による。			
2. 特記仕様	(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、Ⓜ印の付いたものを適用する。 ○印とⓂ印の付いた場合は、ともに適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の（ 〃 ）内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の（別2- 〃）は、標準の「別図2 ホルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の該当項目を示す。 (6) Ⓜ印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。			
1 一般共通事項	①適用基準等	○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版） ○工事写真の裏り方（改訂第2版）建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修） ○建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版） ・ ※適用する [1.1.4]		
	②工事実績情報の登録			
	③品質計画等	○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速 V ₀ ＝（ 30 ）m/s（平12建造第1454号第2） ※地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ ○風圧区分 平12建造第1455号 別表（26） ・		
	④電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ○要 ・不要 [1.3.3]		
	⑤施工条件	下記以外は現場説明書による。 ○工事用車両の駐車場 ※図示 ○監督員の指示による。（施工前に協議を行う） ○資機材置場 ※図示 ○監督員の指示による。（施工前に協議を行う） ○建設発生土仮置場 ※図示 ○監督員の指示による。（施工前に協議を行う） ・ ※図示 ・		
	⑥発生材の処理等	下記以外は解体工事特記仕様書による。 ・発注者に引渡しを要するもの（ ・金頭網 ・ ） [1.3.8] ○特別産業廃棄物（ ・廃石綿 ・PCB含有物 ・ ） [1.3.8] ○現場において再利用を図るもの（ ） [1.3.8] ・再資源化を図るもの（ ） [1.3.8] ・PCB含有シーリング材の処理 ・第一次判定：現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計（ ）箇所 採取箇所 ※図示 ・ ・第二次判定：専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 分析箇所 計（ ）箇所 ・除去処理工事 除去範囲 ※図示 ・		
	⑦環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 [1.4.1] 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図面に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （3）接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （5）（1）、（3）及び（4）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図面に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 該当する材料 規制対象外 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品		
	⑧材料の品質等	本工事に使用する材料は、設計図面に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定、免許等取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。		
	⑨特別な材料の工法	改修標準及び標準に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		
	⑩施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 ・監督員と協議の上、決定すること。 [1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 ・監督員と協議の上、決定すること。 [1.5.3]		
2 仮設工事	①足場その他	内部足場 種別 ※ （定） 足場板等 ・枠組脚場（ ） [2.2.1] 外部足場 種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 [2.2.1] [表2.2.1] 防護シート ※設置する ・設置しない [2.2.1] [表2.2.2] 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2.2.1] [表2.2.2]		
	②既存部分の養生	既存部分の養生 ※ビニルシート等 ・ [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・ 固定家具等の移動 ※行わない ○行う（図示）		
3 仮設間仕切り		仮設間仕切り等の種別 [3.2.2] [表2.3.1] 種 別 下 地 仕上材（厚さ mm） 充填材 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板（※9.0 ・ ） 厚さ mm ※なし ・B種 ・木下地 ※せつこうボード（※9.5 ・ ） ・片面 ※C種 単管下地 防炎シート 仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ・ ※なし ・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・ ・あり		
4 監督職員事務所		※設ける [2.4.1] ・構内に新設する（規模及び仕上げの程度は現場説明書による） ・既存建物内の一部を使用する ○設けない ※定例打合せが出来るスペースを設けることとし、必要なテーブル・イスを準備すること		
	⑤工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有価 ・無価）		
	⑥工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有価 ・無価）		
3 防水改修工事	1 既存防水層の処理	既存保護層（平場）の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） [3.2.3] 既存防水層（平場）の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） [3.2.4] 立上り部の防水層撤去 [表3.1.1] ・行う（ ・POS（機械） ・POSⅠ（機械） ・M4S ・M4SⅠ ・S4S（機械） ・S4SⅠ（機械） ・S3ASⅠ） 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う（ ・M4AS ・M4ASⅠ ・M4C ・M4DⅠ ・L4X） [3.2.6] 改修用ドレン ・設ける（ ・POAS ・POASⅠ ・POD ・PODⅠ ・POS ・POSⅠ ・POX）		
	2 既存下地の補修	アスファルト補修の材料 ※JIS K 2207による3種 ・ [3.2.2] 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6]		
	3 アスファルト防水	[3.3.2.3] [表3.1.1] [表3.3.3～10] 防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 ・P1B工法 ・B－1 ※B－2 ・P1BⅠ工法・T1BⅠ工法 ・BⅠ－1 ※BⅠ－2 ・P2AⅠ工法 ・AⅠ－1 ※AⅠ－2 ・P2A工法 ・A－1 ※A－2 ・M4C工法 ・C－1 ※C－2 ・M3DⅠ工法 ・PODⅠ工法 ・D－1 ※Q－2 ・PODⅠ工法・M3DⅠ工法 ・DⅠ－1 ※DⅠ－2 ・M4DⅠ工法 屋内防水 ・P1E工法 ・P2E工法 ・E－1 ※E－2 トイレの衛生器具、配管廻り（保護層は図示による） アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2] M3D、POD、PODⅠ、		